

第10回ボランティア研修交流会

盛会展裏に幕

ハートのある活動わかる

11月21日10時から通院介護センター「さわやか」の第10回ボランティア研修交流会が開催されました。

10回目を迎えた研修交流会は、ボランティアさん34名、さわやかスタッフ5名、来賓4名、コメンテーター2名の45名が参加しました。

会長挨拶のあと、山田コーディネーターより、新しく出来た「ボランティア用引き書」の概要の説明がありました。説明の主旨は次の通りです。

①送迎途中の寄り道は、断って下さい。②利用者ごボランティアさんの直接連絡はしないで下さい。事務局を通して連絡をとって下さい。③緊急時には、直ちに利用者の病院に速やかに連絡して下さい。以上三項目の注意事項が伝えられました。

の電話と携帯電話の番号を知らせておく。

利用者が送迎時間に出発の用意が出来なくて、待たされる。逆に、早くから外で待つておられるので、少しづつ迎える時間が早くなる、などの意見も出されました。

事務局から利用者へ定時に出発出来るよう要請することになりました。

各ボランティアさんの自己紹介は、ボランティアになった動機や送迎の悩み、家庭の反対と協力など、それぞれに興味のある自己紹介で、参加者に、大きな影響と感動を与えました。

私たちに出来ることがあれば

感想文
小倉第一病院MSW

前田 公江

初めて「さわやか」のボランティア研修交流会に参加させていただき、私自身大変勉強になりました。

皆様とお話する中で特に驚いたことは、ボランティアの皆様の平均年齢が高いということ。約30名の参加者のうち70歳以上の方が5名もいらっしました。

えました。コメンテーターによる、盲目の人の誘導の仕方の実演があり、具体的に納得のいく指導がなされました。

研修会は、時間をオーバーして、正午ちかくまで熱心に討議が繰り広げられました。第一部の交流会は、ホテル最上階の展望レストランで会食をしながら、ゲームなどを食して、午後の一時を過ぎました。

「さわやか」スタッフが頭をひねった、楽しいゲームが次々と行われ、皆さんをグイグイ引きつけていきました。ビンゴゲーム、飛行機飛ばし競争、ジャンケンゲーム、参加者全員による、質問ゲームなど大きな盛り上がりを見

目的(生き甲斐であったり…)は一人ひとりちがうけれど最終的に到達するところは「援助を受ける患者さんのQOLを向上させる」ということです。その目標に向かって「さわやか」のメンバーの皆様が一丸となって取り組んでいる姿に、今回触れることができた私自身も心があらわれたように思います。

今後透析患者さんの強い

せました。

さわやかな商品も全員に行きわたったり、各自お土産を持って帰路につきました。中にはお風呂に入った方もおられました。

研修交流会は、中身のある充実した会になり、全員が明日へのエネルギーを蓄えて更に頑張る決意でとどごうりなく閉幕しました。

研修会来賓

- ◎コメンテーター
王子病院MSW 坂倉 春 美さん
小倉第一病院MSW 前田 公江さん
- ◎来賓
佐賀県警協事務局長 早田 勲 氏
ふれあい佐賀 コーディネーター 最所 孝 氏
ステップ福岡副会長 今村 光 明氏
サブコーディネーター 浜辺 和美さん

年末年始のお知らせ

年末年始の休暇は左記の通りになります。事務局は閉鎖しますが、透析は継続されます。ボランティアさんの中にはお正月休みの時もしていただけの方がおられます。

「苦労さまですが、よろしくお願いたします。尚、事務局に緊急な連絡がある場合には、透析病院にコーディネーターの連絡先を伝えてあるので、透析病院のほうへ連絡をお願いします。

休暇期間
十二月二十九日から
一月 四日まで



ボランティアさん ありがとう！

「さわやか」利用者

高 加代子

週に三回、同じ透析患者の中溝さんと私は、ボランティアの森さんに、自宅まで車で送っていただいています。

透析治療を受けた後は、とても疲れるはずなのですが、森さんとの会話は、楽しくて心も体も安らぎます。

時々、体調が悪いなどの理由で透析が遅くなり、長い時間待たせてしまうことがあるのですが、嫌な顔もなさらずに、快く待ってください、本当に感謝しています。

以前にも、長く待たせてしまい、私自身、申し訳なく思っていました。その間に病院近くに住む妹に会いに行けたから、僕も良かった」と私の気持ちを和らげてくれ、森さんのやさしさが伝わってきました。

そして、いつも私たちに「元気な顔をしているとうれしい」と言ってくれるのですが

釣れたぞタコ

大阪には「おさわりタコ」

がいるとか？

「さわやか」ボランティア

下畑 和幸

今回は釣りの話。女性にはあまり興味ないかもね。

中津沖では今年イイダコが多くてですね、先日の釣行では一時間で80匹くらい釣りま

した。

水深は3メートルの浅い所です。仕掛けを投げ込んで

では上げの繰り返しタコを釣からはずすのもどかしく投入。タコは舟上に散らばった

ままです。そこをはい回っているという戦場のようなあり様

ひとしきり釣ったらピタリと釣れなくなったので舟を整理しながら「いや、まいった

村山 真紀子

来年は皆さんの 参加を！

サブコーディネーター

感想文

11月21日、通院介護センター「さわやか」第10回ボランティア研修交流会に主人と一緒に参加しました。前半の研修会では、一人一人が自己紹介をしました。

ボランティアの皆さんの、患者に対する思いが伝わり頭の下がる思いでいっぱいでした。後半は交流会でした。

私は入院中だったため、今回はゲストとしての参加でした。毎年、この交流会に向け

て「さわやか」のスタッフは一カ月前から「いかにしてボランティアさんに楽しんでいただくか」ということで何度も打合せをします。

恒例のビンゴゲーム、何と主人が一等賞の高級毛布をいただきました。有り難うございました。いえ、申し訳ありませんでした。

次に、メッセージの入った封筒が配られ、ボランティアさん同士、質問しあうという

ものでユニークなもの。ほほ笑ましいものもあり、ここで一気に会場は盛り上がりました。

また交流会に参加されたことのないボランティアさん、来年は是非、ご都合をつけて参加されてはいかがでしょう。一人で参加されても大丈夫、みんなが同じ「さわやか」のボランティアさんなので

にタコのスマがついている。もう真っ黒けの状態で子供の頃よく歌った「ウチの何とかさん南洋じゃ美人」という歌を思い出しましたよ。

タコは好み焼きの具にしてみましたタコ焼きのような味がしてグッド！

おでんタコ・このタコやろうと妻におこられながらタコばかり食べていました。もうタコはしばらく見たくないです。ちなみに大阪方面ではおさわりタコもいるそうですね。(笑……)



ポイント

ひとり歩きをしている視覚障害者には「何かお手伝いをしましょうか」と一言声をかけることが大切です。ガイドをするときには視覚障害者の持っている白杖を握らないでください。

特に狭い所では、ガイドをしている人は、肘を持たせた手を後ろに回してガイドするとよいでしょう。また、歩道に突き出ている看板や提灯があるので足下と同様に頭上にも注意を払いましょう。